今期業況天気図

期間:令和3年4月~6月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合の天気図は「雨」から「小雨」へ好転。令和3年4月~6月期の総合業況DIは 25と、前期▲38から13ポイント大きく改善。

業種別では、製造業は28ポイントの大幅な改善のほか、飲食業・サービス業も14ポイントの改善であった。建設業は2ポイントの改善とほぼ前期並みで、小売業・卸売業が3ポイントと若干の悪化が見られた。前期に「小雨」まで回復した小売業・卸売業の回復が足踏みしている一方で、製造業と飲食業・サービス業が急速に回復し、「雨」から「小雨」に改善している。建設業のみが「雨」と回復が遅れている。

	全業種総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 23	▲ 16	▲ 39	▲ 27	▲ 19
採算	▲ 28	▲ 21	▲ 39	▲ 36	▲ 25
仕入単価	▲ 34	▲ 47	▲ 45	▲ 37	▲ 19
販売単価	▲ 9	▲ 8	▲ 14	▲ 5	▲ 10
従業員	12	7	24	4	12
資金繰り	▲ 18	▲ 14	▲ 21	▲ 15	▲ 20
今期業況 (総合判断)	▲ 25	▲ 18	_ ▲ 32	▲ 29	▲ 25
今期業況 天気図					



<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指

標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和2年7月~ 9月期					
2四半期前 令和2年10月~ 12月期	A				
1四半期前 令和3年1月~ 3月期			A		
今期 令和3年4月~ 6月期			7		

1

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間:令和3年4月~6月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの総合の天気図は「雨」。小売業・卸売業が▲38ポイント、製造業、飲食業・サービス業が▲36ポイント、建設業も▲35ポイントと、いずれの業種も「雨」で改善が見られない。 小規模事業者の業況は、いずれの業界でもDI値が▲35以下であり、厳しい状況がつづいている。

	全業種総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 32	▲ 36	▲ 39	▲ 46	▲ 16
採算	▲ 38	▲ 37	▲ 41	▲ 44	▲ 35
仕入単価	▲ 45	▲ 47	▲ 45	▲ 36	4 8
販売単価	▲ 28	▲ 15	▲ 13	▲ 8	▲ 45
従業員	▲ 15	6	24	2	▲ 43
資金繰り	▲ 30	▲ 22	▲ 23	▲ 22	▲ 41
今期業況(総合判断)	∆ 36	▲ 36	35	▲ 38	▲ 36
今期業況 天気図			X		X

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間:令和3年4月~6月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合の天気図は「曇り」。製造業が12ポイントの「晴れ」と新型コロナ感染症の拡大以降初めてプラスに転じた。残りの業種も「小雨」となり建設業も▲12、小売業・卸売業が▲15、飲食業・サービス業が▲19と、いずれも改善が進む。小規模事業者以外の中小企業では、業況がかなり回復し、ほぼ新型コロナ感染症の拡大以前の状況に戻りつつある。特に製造業は「晴れ」と好況である。

	全業種総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 3	15	▲ 41	5	▲ 14
採算	▲ 11	6	▲ 24	▲ 21	▲ 17
仕入単価	▲ 34	▲ 47	▲ 47	▲ 39	▲ 23
販売単価	▲ 6	3	▲ 18	0	▲ 12
従業員	19	10	24	8	28
資金繰り	▲ 9	▲ 1	0	▲ 3	▲ 18
今期業況(総合判断)	▲ 9	12	▲ 12	▲ 15	▲ 19
今期業況 天気図					



〈〈景気観測調査〉〉

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。

「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

次期見通し業況天気図

令和3年7月~9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、今期の「小雨」のまま推移する見込み。

産業別にみると、製造業が▲19ポイント(前期差1ポイント減)、飲食業・サービス業は▲26 (前期差1ポイント減)、小売業・卸売業も▲31(前期差2ポイント減)の悪化と、と足踏みの見込み。建設業は▲38(前期差6ポイント減)とやや悪化する予測である。 新型コロナ感染症の再拡大に伴うまん延防止および緊急事態宣言の発出により、いずれの業種でも業況の改善はストップしやや悪化するのではないかという見方が多いようである。

	全業種 総 合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 21	▲ 10	▲ 31	▲ 29	▲ 21
採算	▲ 24	▲ 15	▲ 36	▲ 30	▲ 22
仕入単価	▲ 31	▲ 43	▲ 42	▲ 33	▲ 17
販売単価	▲ 8	▲ 5	▲ 14	A 3	▲ 10
従業員	12	7	25	4	12
資金繰り	▲ 20	▲ 18	▲ 23	▲ 18	▲ 21
次期業況 (総合判断)	▲ 27	▲ 19	▲ 38	▲ 31	▲ 26
次期業況 天気図			M	7	

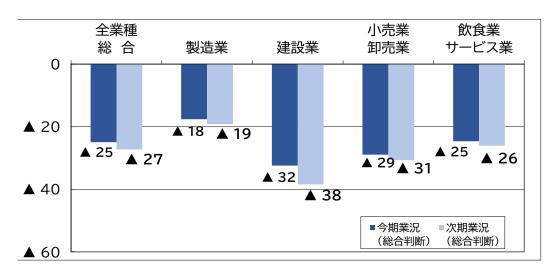


<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。

「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出 した数値(DI値)を用いる。

参考)今期と次期の業況DI



次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和3年7月~9月(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、今期の「雨」のまま推移する見込み。

産業別にみると、製造業が▲33ポイント(前期差3ポイント増)、小売業・卸売業が▲34ポイント(前期差4ポイント増)と若干の改善の見込み。建設業も▲40ポイント(前期差8ポイント減)、飲食業・サービス業も▲41(前期差5ポイント減)は再度悪化し厳しい状況が続く見込みである。前期までの回復傾向が止まり、すべての業種が再度「雨」となる。

	全業種 総 合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 30	▲ 25	▲ 30	▲ 33	▲ 31
採算	▲ 34	▲ 25	▲ 37	▲ 34	▲ 38
仕入単価	▲ 45	▲ 43	▲ 41	▲ 33	▲ 50
販売単価	▲ 28	▲ 13	▲ 15	▲ 4	▲ 46
従業員	▲ 16	3	24	2	▲ 43
資金繰り	▲ 34	▲ 25	▲ 24	▲ 26	▲ 46
次期業況(総合判断)	▲ 38	▲ 33	▲ 40	▲ 34	▲ 41
次期業況 天気図	7			A	A

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和3年7月~9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、製造業が「薄曇り」、その他の業種が「小雨」となる見込みで推移。緊急主体宣言の延長もあり、今期より若干悪化するという予想である。

産業別にみると、製造業が3ポイント(前期差9ポイント減)と今期より勢いは落ちるものの若干の改善が続く予想。飲食業・サービス業は▲19ポイント(前期差±0ポイント)は今期並みの見込み。小売業・卸売業は▲26ポイント(前期差11ポイント減)と、建設業は▲24ポイント(前期差12ポイント減)で、今期の改善傾向から、来期は悪化に代わる見込である。

	全業種 総 合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 8	14	▲ 35	▲ 23	▲ 13
採算	▲ 14	0	▲ 29	▲ 23	▲ 18
仕入単価	▲ 31	▲ 43	▲ 53	▲ 34	▲ 1600
販売単価	▲ 2	7	▲ 12	▲ 2	▲ 8
従業員	19	12	29	8	27
資金繰り	▲ 10	▲ 7	A 6	▲ 5	▲ 15
次期業況(総合判断)	▲ 14	3	▲ 24	▲ 26	▲ 19
次期業況 天気図				£	

業況天気図凡例 快晴 晴れ 薄曇り 小雨 雨 ごご Dtll 31以上 Dtll 10~A10 Dtll 411~A30 Dtll A31以下

〈〈景気観測調査〉〉

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値 化し景気動向を調査。

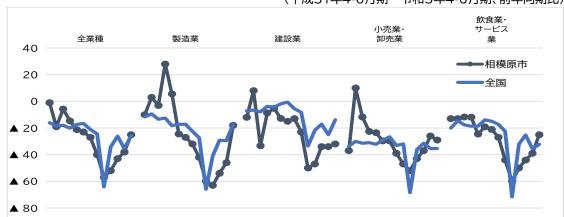
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出 した数値(DI値)を用いる。

業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、前期▲38から▲25(前期差13ポイント増)と大幅に改善。

産業別にみると、製造業が▲18(前期差28ポイント増)と景況の回復をリードした。飲食業・サービス業も▲25(前期差14ポイント増)と、大きく改善。建設業は▲32(前期差2ポイント増)、小売業・卸売業は▲29(前期差3ポイント減)は停滞している。

製造業と飲食業・サービス業の回復基調が鮮明となっている。小売業・卸売業は、今年に入って景況の改善が止まっている。建設業は全国的には改善がつづくが、当市では景況が低位にとどまったままである。飲食業・サービス業は当市では改善が続くが、全国では改善に遅れが出ている。

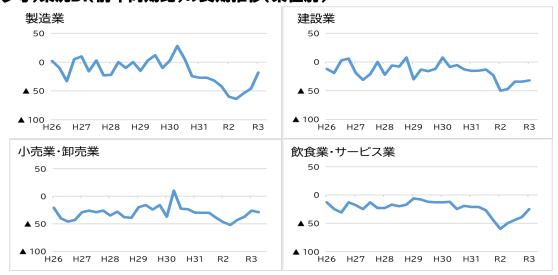


(平成31年4-6月期~令和3年4-6月期、前年同期比)

※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断 DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用 ※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・原料メーカー工場の火災等による原材料の供給不安、半導体の世界的品薄による、自動車メーカーの生産調整の影響。【自動車用塗料の製造・販売】
- ・半導体やバッテリーの増産により製造装置やロボット・工作機械等の設備投資が活況。2月より受注が好転している。【電子部品製造販売】
- ・マレーシア現地法人のロックダウンによる売上減少。【角型紙管製造】
- ・令和2年度との比較では好転となるが、それ以前との比較ではまだまだ戻ってきているとはいいがたい。その中において、国内外メーカーの原材料値上げが相次いでおり、それが製品単価に転嫁できず利益を圧迫してしまっている。しかしメーカー値上げをチャンスと見て現在新規開拓に取り組んでいる。【粘着製品の加工・販売、粘着応用製品の企画・加工・販売】
- ・各種仕入品の単価値上げが止まらない。金、銀、銅、パラジウム等の値上げ影響により仕入費用が収益を圧迫している。【プリント配線板の製造】

【建設業】

- ・相模原市発注の予算が急下落。【造園工事】
- ・受注後に着工時期の延期が多い。材料単価の高騰により実行予算の見直し。【電気工事業】
- ・一般消費者の方は、先行して修繕は行いません。先行きの不安でしょうか?コロナ禍で、少し遅れていますので少々景気が悪く感じます。【給排水衛生工事、施設保全作業】
- ・材木が海外から入ってこなくて、現場がたびたび止まる事があり困る。【木造建築】

【小売業・卸売業】

- ・最近の消費者状況、動向。ショッピングセンター等、生活飲食料品の買い物の際には日用雑貨 も購入して町の商品で買い物が少ない。大学ではオンライン授業で町に学生が少ない。【文具、 事務用品】
- ・病院、医院の患者が非常に少ない。したがって受持数も少なくなっている。【メガネ、CLの販売】
- ・仕入先の廃業があり、次の仕入先を探すのに苦慮しています。弊社だけでなく、取引委先から もそのような話をよく聞きます。【空気圧機器販売・一部製造】
- ・展示会なども開催されず、商材情報(新商品等)が少ない。実際に見て・聞いて・さわってみる機会がなくなってしまった。【省庁向け特殊物品企画開発・販売】

【飲食業・サービス業】

- ・酒類停止になってから深刻な業績悪化、死活問題。【レストラン】
- ・去年の緊急事態宣言明けから数か月は毎月売り上げ上昇で、年末年始あたりでかなり減りましたが、今現在は好調。今年度のコロナの影響や緊急事態宣言延長、オリンピックの影響はまだ謎です。【賃便利屋、不用品片付け】
- ・従来の輸送量に回復しつつあるも、コロナ以前の運転手不足は一服し、荷主は値下げ要求に 転じている為、今後経営は厳しさを増すかもしれない。【自動車鋼板・自動車部品・LPガス運 送】

売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、前期▲41から▲23(前期差18ポイント増)と、大幅に改善。

産業別にみると、製造業が▲16(前期差33ポイント増)と飲食業・サービス業は▲19(前期差24ポイント増)が大幅に改善した。建設業は▲39(前期差4ポイント増)、前期とほぼ変わらない。小売業・卸売業は▲27(前期差9ポイント減)で悪化した。

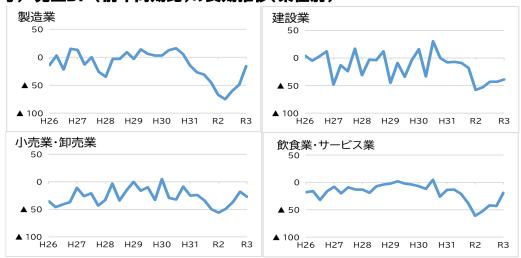
製造業と飲食業・サービス業の売り上げ回復が進んでいる。回復基調にあった小売業・卸売業は再度悪化した。建設業は全国的には回復が進んでいるが、当市では厳しい状況が続いている。首都圏近郊での建設業者の競争が激しくなっている様子である。



(平成31年4-6月期~令和3年4-6月期、前年同期比)

※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額 DI」を使用。
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

全産業の採算DIは、▲28(前期差12ポイント増)と、改善。

産業別にみると、売上同様、製造業が▲21(前期差26ポイント増)と飲食業・サービス業が ▲25(前期差18ポイント増)が大きく改善した。小売業・卸売業が▲36(前期差8ポイント減)、 および建設業が▲39(前期差5ポイント減)はやや悪化している。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、建設業の回復が引き続き全国よりも遅れているほかは、全国と同様に採算 DI は回復傾向にある。

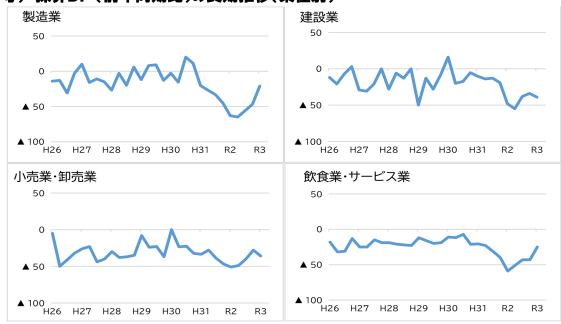


(平成31年4-6月期~令和3年4-6月期、前年同期比)

※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用 ※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

参考) 採算DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DI(前年同期比)の推移

全産業の仕入単価DIは▲34(前期差7ポイント減)だった。

産業別にみると、建設業が▲45(前期差17ポイント減)と大幅に下落し、製造業は▲47 (前期差7ポイント減)も悪化した。小売業・卸売業は▲37(前期差0ポイント)と飲食業・サービス業は▲19(前期差2ポイント減)はあまり動きがない。

前期から製造業で半導体などはじめとした資材不足が発生していたが、今期は建設業における木材価格の急激な値上がりに見舞われている。北米産の木材を中心に価格が高騰しているが、新型コロナ感染症による物流の停滞とともに、その終息にともなう需要拡大が影響しているといわれている。



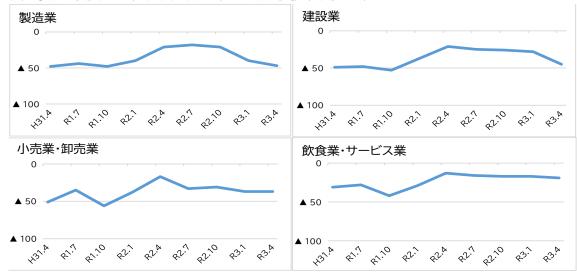
(平成31年4-6月期~令和3年4-6月期、前年同期比)

※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落一上昇、中小企業庁は「上昇一低下」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



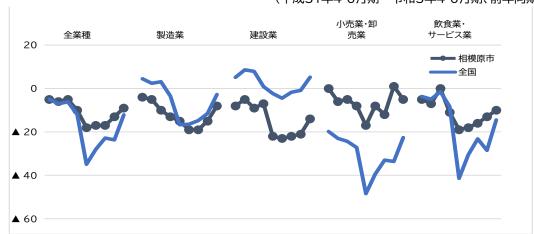
販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、▲9(前期差4ポイント増)と上昇。

産業別にみると、建設業は▲14(前期差7ポイント増)、飲食業・サービス業が▲10(前期差3ポイント増)、製造業は▲8(前期差7ポイント増)、小売業・卸売業が▲5(前期差6ポイント減)いずれも増加した。

小売業・卸売業を除いて、単価は上昇傾向が続いている。

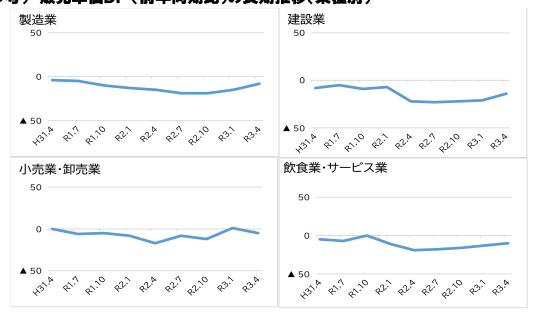
産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国より建設業の DI 値が低く単価低迷がつづいており、小売業・卸売業は全国値より高く単価が安定している。



(平成31年4-6月期~令和3年4-6月期、前年同期比)

- ※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。
- ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用 ※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和3年6月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI (前年同期比)の長期推移(業種別)

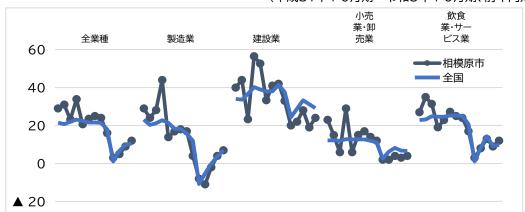


従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、12(前期差3ポイント増)で、増加。

産業別では、建設業は24(前期差5ポイント増)、飲食業・サービス業は12(前期差3ポイント増)と、徐々に新型コロナ感染症拡大前に戻り始めている。製造業は7(前期差3ポイント増)、小売業・卸売業が4(前期差1ポイント増)は、おおむね人手の需給バランスが取れた状況である。

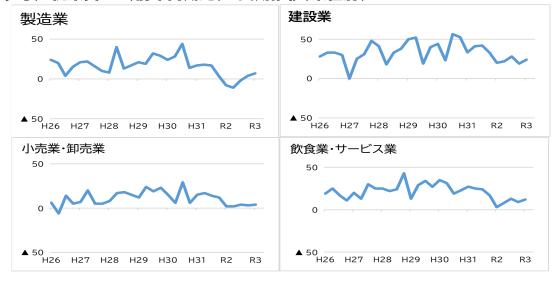
産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全業種において、ほぼ同様の傾向・同様の DI 値である。



(平成31年4-6月期~令和3年4-6月期、前年同期比)

- ※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足 DI」を使用。
- ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
- ※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査
- ※従業員DIについて、当所では「DI=不足―過剰、中小企業庁は「過剰―不足」で算出。
- 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

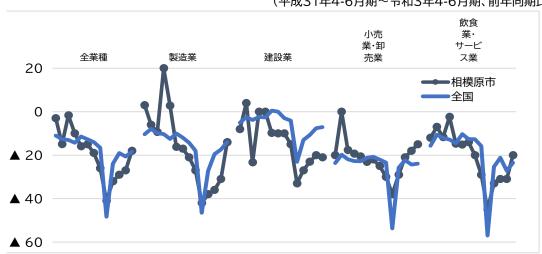
参考) 従業員DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲18(前期差9ポイント増)と、前期同期と比較し改善した。 産業別にみると、改善幅が大きいのが、製造業の▲14(前期差17ポイント増)、飲食業・サービス業の▲20(前期差11ポイント増)である。小売業・卸売業で▲15(前期差3ポイント増)、建設業は▲21(前期差1ポイント減)は小幅の変動だった。

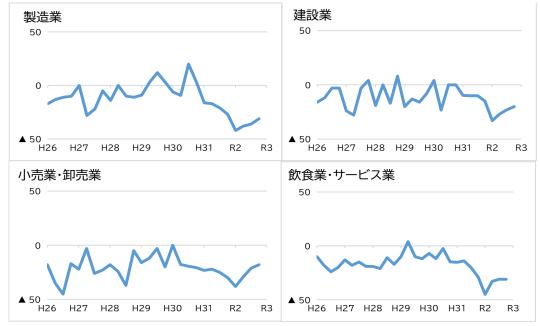
売上が良くなった製造業、飲食業・サービス業を中心に資金繰りが大幅に改善した。 産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、小売業・卸売業では当市のほうが資金 繰りの改善が進み、建設業では当市のほうが悪い。



(平成31年4-6月期~令和3年4-6月期、前年同期比)

※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI (前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R3.4~R3.6)		次期見通し(R3.7~R3.9)					
			売上:増加 採算、資金、総合: 好転 好転:上落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算、資金、総合: 悪化 七入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算、資金、総合: 好転 七入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算、資金、総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
	売上	サンプル数 構成比	77 30	64 25	120 46	261 ▲ 16	59 23	117 45	85 33	261 ▲ 10
	採算	サンプル数	52	102	107	261	42	137	82	261
	沐弁	構成比	20	39	41	▲ 21	16	52	31	▲ 15
	仕入単価	サンプル数 構成比	6 2	127 49	128 49	261 ▲ 47	2	141 54	116 44	261 ▲ 43
生い生光	□C = 24 /II	サンプル数	17	206	38	261	17	213	31	261
製造業	販売単価	構成比	7	79	15	▲ 8		82	12	▲ 5
	従業員	サンプル数	39 15	202 77	20 8	261	33	212	16	261
	`m A 4844	構成比サンプル数	27	170	64	261	13 14	81 185	6 62	261
	資金繰り	構成比	10	65	25	▲ 14	5	71	24	▲ 18
	業況	サンプル数	50	115	96	261	35	141	85	261
		構成比サンプル数	19 26	44 59	37 97	▲ 18	13 28	54 70	33 84	▲ 19 182
	売上	構成比	14	32	53	▲ 39	15	38		▲ 31
	採算	サンプル数	16	79	87	182	17	82	83	182
		構成比サンプル数	9	43 96	48 84	▲ 39 182	9	45 101	46 79	<u>▲ 36</u> 182
	仕入単価	構成比	1	53	46	▲ 45	1	55	43	▲ 42
建設業	販売単価	サンプ。ル数	12	133	37	182	11	134	37	182
是政术	从几十四	構成比	7	73	20	▲ 14		74	20	▲ 14
	従業員	サンプル数 構成比	48 26	130 71	2	182 24	48 26	131 72	2	182 25
	資金繰り	サンプル数	12	120	50	182		123	50	182
	貝亚林り	構成比	7	66	27	▲ 21	5	68		▲ 23
	業況	サンプル数構成比	17 9	89 49	76 42	182 ▲ 32	10 5	92 51	80 44	182 ▲ 38
	± L	サンプル数	36	49	81	166	29	60		166
	売上	構成比	22	30	49	▲ 27	17	36	46	▲ 29
	採算	サンプル数	24	59	83	166		77	69	166
		構成比サンプル数	14	36 99	50 64	▲ 36	12	46 105	42 58	▲ 30
	仕入単価	構成比	2	60	39	▲ 37	2	63	35	▲ 33
小売業・	販売単価	サンプル数	22	114	30	166		117	27	166
卸売業		構成比サンプル数	13 15	69 143	18 8	<u></u> ▲ 5	13 14	70 145	16 7	▲ 3
	従業員	構成比	9	86	5	4	8	87	4	4
	資金繰り	サンプル数	15	111	40	166	11	114		166
		構成比サンプル数	9 22	67 74	24 70	▲ 15 166	7 15	69 85	25 66	▲ 18 166
	業況	構成比	13	45	42	▲ 29		51	40	▲ 31
	売上	サンプル数	95	147	176	418		205	151	418
		構成比サンプル数	23 56	35 201	42 161	▲ 19 418	15 41	49 245	36 132	▲ 21 418
	採算	構成比	13	48	39	▲ 25		59	32	▲ 22
	仕入単価	サンプル数	11	316	91	418	3	340	75	418
&n- 소 -₩	,/ \—/ IIII	構成比	3 24	76 330	22 64	▲ 19		81 339	18 60	▲ 17
飲食業・ サービス業	販売単価	サンプル数構成比	6	330 79	15	418 ▲ 10		81		418 ▲ 10
	従業員	サンプル数	74	319	25	418	69	330	19	418
	此本只	構成比	18	76	6	12		79		12
	資金繰り	サンプル数構成比	33 8	270 65	115 28	418 ▲ 20		295 71		418 ▲ 21
	 業況	サンプル数	48	219	151	418		245	141	418
	未儿	構成比	11	52	36	▲ 25		59		▲ 26
	売上	サンプル数構成比	234 23	319	474 46	1027 ▲ 23		452 44		1027
	127.00	情成に サンプル数	148	31 441	438	<u>▲ 23</u> 1027	-	541	39 366	▲ 21 1027
	採算	構成比	14	43	43	▲ 28	12	53	36	▲ 24
	仕入単価	サンプル数	22	638	367	1027		687	328	1027
全業種		構成比サンプル数	2 75	62 783	36 169	▲ 34 1027		67 803	32 155	▲ 31 1027
総合	販売単価	構成比	73	76	169	1 027		78		1027
	従業員	サンプル数	176	794	57	1027	164	818	45	1027
	,-/\ <i>></i>	構成比	17	77 471	6	12		80		1027
	資金繰り	サンプル数 構成比	87 8	671 65	269 26	1027 ▲ 18		717 70		1027 ▲ 20
	 業況	サンプル数	137	497	393	1027	-	563		1027
	未儿	構成比	13	48	38	▲ 25	9	55	36	▲ 27

製造業

- ① 取引先の多くがテレワークになり、営業活動が難しくなった。②求人を出しても応募がない。 【FA・メカトロニクスの電気設計・ソフトウェア設計および製造】
- クレーマーが増えた【ジャズポップコーン製造】
- 3月までは少なくとも発注があったが、新年度になり予定されていた注文等が延期したりし、 益々、厳しい状況になってきたと思う。【金型】
- R1、1 月頃から急降下した状態が続行している。【カメラ、コピー部品の試作】
- イベント関係の悪化のため、不況感あり。【消防法に基く防災加工業】
- お客様も見通しがつかないことから、新規の設備導入は、見送り状態になっている。電子部品の 入荷も全体的に遅くなっていて、半年待ちの部品もある。また、単価も 2~3 倍になっている。【超 音波バリ取り洗浄装置の製造・販売】"
- <u>ゴールデンウィーク後、仕事が回り始めた感覚です。【精密機械加工】</u>
- コロナウイルスにより学校行事が大幅に減少して、それに伴い写真代の売上げが減少【卒業アル バム印刷、製本】
- コロナが収束しない限り、経営が増々悪化する。【印刷業】
- コロナが終わるのを待つ他無い。【FRP 造形物製造】
- コロナで受注先の減少。【ウレタンマットレス繊維カバー】
- コロナによる、販売量の低下(取扱い量の減少)【金属合紙のリサイクル・リユース】
- コロナによる景気の先行き不透明感。【オフセット印刷】
- コロナによる売上減少が気になります。【厨房設備の修繕・入替】
- コロナの影響。【オリーブオイル製造】
- コロナの影響。【ガラス瓶の製造】
- コロナの影響が続いている。【バリ取り機・洗浄機・ロットシステムの開発・製造・販売・メンテナンス】
- コロナの影響でお客様の注文が遅延・延期など発生し売上が不安定。【精密機械 設計及び製作】
- コロナの影響で客先への訪問が減少【自動車附属品物流用リフト】
- コロナの影響で仕事がなく、先行き不安。
- コロナの影響で受注量が減っている傾向だが、月によって急に仕事が増えたりすることがあり安 定しない。【各種自動制御装置の設計、製作、施工、図面トレースなど】
- コロナの影響なのか、試作を数年前にした製品が未だに動いていない。【金属製品全般】
- コロナの影響は肌で感じているが、全体の景気というより業界や取り扱っている物によって内容が全然変わってくる為、先が全く読めない。雇用についてもいい人材があまりいないと感じる。 【自動車、建機の足回り部品、(ハブ、ドラム、ハブドラム、ディスクローター)半導体装置の部品加工(板物、プレート、ブロック)、工作機械、装置の部品加工(フランジ物、ブロック)】
- コロナの関係で受注減少している。【金属部品製作・プレス板修理】
- コロナの関係なのか、仕事自体の数が減っている。【金属機械加工業】
- コロナの終息が見直せない中、急激な売上減少への対応が懸念。材料不足、及び、価格上昇懸念 される。【自動車製造用機械設備、自動車用部品、建機用部品】
- コロナの状況で結構、悪影響があるビジネスと、何とかキープできているビジネスと混在している。【業務用無線機、音響機器、カラオケ機器等の開発、生産、販売】
- コロナの長期にわたる影響で客先の設備投資の計画が定まらない。そのため客先投資が見送り になる場合がほとんどである。【高速モータの製造販売】
- コロナ禍、設備投資が少ない為、受注が減少。
- コロナ禍であるが、大きく減量する要素がない。81 期が純利益、13 百万程度計上出来た。82 期上 期迄の受注量も安泰。【輸送用機械部品・製造加工】
- コロナ禍での顧客の設備投資控え。【産業用・工業用自動機の開発・製造・販売】
- コロナ禍にあるが、昨年7月、毎週金曜日のみ休業をした程度で大きく業況を損ねてはいない。
- 9月には諸外国向けの特需もあり、財務内容としては例年と大きく変化無く、当期 81 期も税引き

後 13 百万程度の当期純利益を計上した。今期 82 期は 4 月期初より受注増が見込め、得意先からの内示も裏づけされており、上半期は不安材料が窺えない。【輸送用機械部品製造・加工、重量車両(8t 車以上トラック・大型建機等)の足回り部品製造・加工】

令和2年度との比較では好転となるが、それ以前との比較ではまだまだ戻ってきているとはいいがたい。その中において、国内外メーカーの原材料値上げが相次いでおり、それが製品単価に転嫁できず利益を圧迫してしまっている。しかしメーカー値上げをチャンスと見て現在新規開拓に取り組んでいる。【粘着製品の加工・販売、粘着応用製品の企画・加工・販売】

- コロナ禍による経済活動の制限。【除振台、防振装置、除振防振工事、除振コンサル、振動測定及 び解析、防振ゴム】
- コロナ禍による食品や飲料需要の低迷。【段ボール製造、販売】
- コロナ禍に有り、客先より受給減少に依る不振が止まらない。日増しに悪化している【工業デザインモック及び試作部品製作】
- コロナ禍の影響が遅れて業績に出てきた。これからの経営に不安がある。【電子回路設計製造販売】
- コロナ禍の中、産業用市場での働き方改革、売上減が長期間となり製造業であるが雇用を守れない。当面の雇用調整では足りない。【業務用放送設備機器設計・製造】
- コロナ過で生産計画の見直し後の動きが遅いタイミングで半導体不足など様々な問題がたて続けに発生している。ワクチンが救いになるかわからないが良い方向に動いて欲しい。【自動車車体製造】
- コロナ関係で出社減で発注関係有り。【真空化学宇宙等の製造販売】
- コロナ関連で消費低迷による既存顧客の離脱。売上減少。【浄水器の製造・販売・レンタル業】
- コロナ収束感の高まりによる景気回復感の上昇及び、それに伴う材料市況の単価上昇。【エンジンの開発、製造、調達、品質保証、建設、販売、サービス。発電システム、発電セットのリース・レンタル。ターボチャージャの開発、製造、調達、品質保証、建設、販売サービス。】

コロナ不況。【製本】

すべての業種、役所等の経費、予算の削減。【印刷全般】

フライトエア等の入荷が 6 ヶ月かかるようになった。募集しても応募者がいない。【電子部品設計製造(トランス・コイル)】

マレーシア現地法人のロックダウンによる売上減少。【角型紙管製造】

まん延防止や緊急事態宣言により、消費者の購買意欲が無く、必要不可欠なものでないため売り上げにつながらない。【組紐の製造販売】

やはりコロナの状態に左右されており大手会社の動きが鈍くなっているようです。コロナが収束する目途がついたら戻るような気がします。【制御盤の製作、付帯電気工事】

ワクチン接種が進むにつれ、良くなる。【電気機械製造】

異常気象に代表される天災、あるいは火災等の人災による半導体や電子部品の供給不安とそれ に伴う部品や金属・樹脂といった材料の高騰。

すでに部品の入荷リードタイムは長期化し、生産への支障・遅延が散発しており、売上にも影響が 出ている。【電子機器組立、プリント基板実装】

一部の製品分野(化粧品)の売上が不振。国際的な輸送の状況が不安定なため、4~6月は予定以上に前倒しで輸入品が入ってしまい、荷物が多くなり倉庫を借りたが空いていなくてたいへんだった。売上が回復した時のキャパが不安。【文具、医療・衛生用品、化粧品等の加工・検査及び包装】

開発の人材不足、材料の高騰、特に銅の値上げが製品の利益減少をうむ。 【抵抗溶接機とその 消耗品】

各種仕入品の単価値上げが止まらない。金、銀、銅、パラジウム等の値上げ影響により仕入費用 が収益を圧迫している。【プリント配線板の製造】

学校給食における循環型、地域経済【醤油】

客先を見ていると、調子の良い企業と悪い企業の差が、ますます大きくなっているように感じます。【金属エッチング・アルマイト銘板及びシール・シルク印刷】

去年より、仕事量や動きが悪い。【シャフト・ベアリングケース・ブラケット】

去年より悪い不況感。【発泡スチロール加工】

業界・業種による繁忙の差が今まで以上に激しい。【金属部品加工】

景気の差が市場により大きく違う。【トルク測定機】

景気悪化、鉄材料の高騰、人手不足。【橋形クレーレ、天井クレーレ】

景気感は良くなく、鋼材などの価格高騰により、値上げの交渉をしているが、販売先からの協力が得られない。当分の間は、企業努力での対応をするしかないよう。【建設機械、産業生産設備の金属部品加工】

月末は棚卸などの都合により、受注が元来減少傾向ではあったが、今までは月末3日間程度であった減少期間が1週間と長くなってきた。【段ボール箱製造販売、紙器一式・包装資材販売】

原材料の高騰、調達難。【シール剤、接着剤の製造】

原材料の不足【電池部品電池部品】

原材料費、ガソリン等の度重なる値上げ【弁当・惣菜】

原料メーカー工場の火災等による原材料の供給不安、半導体の世界的品薄による、自動車メーカーの生産調整の影響。【自動車用塗料の製造・販売】

原料価格の高騰。【食品】

現時点での景気感は良好。悪化時の反動が心配。【機械部品製造及び金型の設計・製作】

顧客の収益が悪化しているので、通期での苦戦が見込まれる。【電気機器】

公共工事や民間工事の減少により、競合が増えており販売価格が大幅に下落している。【アルミ手摺、内門等の製作・施工】

今期はコロナ禍ではあるが、国内は半導体問題等で不安要素があったが若干好調。海外は中国 をはじめ若干減少傾向。しかしながら次期は不安定要素が多く出荷高が心配。【産業用油圧機器 製造】

今期は丸々コロナの影響を受けているので、前期よりも動きが鈍っているように感じる。【金属加工、板金、製缶】

今後の世の中の動きが不透明【板金加工】

今年に入ってから例年の 8~9 割に戻ってきた。ただまだまだ消費者心理はコロナの影響で冷え切っているので先行不透明。

今年はリニア新幹線、北海道新幹線等の工事発注が多い為好転している。【シールド、トンネル機械の製造販売(工事機器)】

採用は苦戦。理系大卒。【金属製品加工】

材料単価の上昇【自動車部品】

材料費の高騰【制御盤、設計及び製造】

材料費の高騰【金属樹脂切削加工業】

材料費の値上げによる利益の減少。【木箱の製造】

材料品薄傾向。【プリント基板製造・設計】

昨年は景気の波が非常事態宣言後に現れたがその分反動もありましたが、4月以降は徐々に仕事が少なくなっていると感じてます。【看板製作・設置/金物製作】

昨年同時期よりさらに不況で、輸出、輸入が正常に戻らないと全体に回らない様だ。自宅でオンラインでは CAD が使用できず、図面が出て来ない。【機械加工全般】

仕入れ単価上昇により、利益減少の傾向あり。細かい注文、修理依頼が増えている。【ヨットのマスト設計、製造他】

止まっている仕事が流れてくれると良いのですが。【精密機械の製造】

社員教育等、技術力向上が図れていない為、外注依存が高くなっている。【精密板金業】

取引先も目立って大きな変化はないのですが、コロナの影響で減る所もあれば、逆にコロナ特需のようなところもありました。弊社としては良くも悪くも大きな変化はなかったです。【発泡樹脂製品(梱包用)製造】

受注が増加傾向にあり、少しずつですが、全体的に好転しているように思います。【金属加工】

受注の量はありますが、売上が伴わないです。【OA 機器試作(プラスチック加工)】

受注悪化、先行不透明【光学ガラス部品受託加工業】

受注案件が低下している。【金属加工、治工具設計、製作】

受注減、消費税 10%の痛手【精密板金加工】

受注高は昨年の同期と比べて横ばいまたは若干の増加傾向にある。景況感は持ち直し感があるものの、調達とくに海外からの調達が遅れ気味のため売上の大幅な回復は望めない。

また、毎年6月以降は売上げの調整サイクルにはいる。コロナの国内外の状況にもよるが、9月以降の実質的な景気回復に期待する。【空圧制御弁および関連機器の製造・販売】"

受注量が減少【エアーBrg シリンダ、試験装置】

上場企業が設備投資を控えている。早く動いてほしい。【脱着式保温カバー、ファインジャケット】 新規問い合わせは多いが単価等折り合わず、取引が決まらない。【紙管の製造、加工】

新型コロナウイルスのため、プログラム等の発注が減少した。【軽印刷(名刺、ハガキ、プログラム印刷)】

新型コロナウイルスの影響【臨床検査薬の開発、製造、販売】

新型コロナの影響はいまだ継続している感は否めない。しかしながら、働き方改革に伴う設備自動化の案件なども多く、結果需要増となる見込み。景気も緩やかだが回復傾向に感じる。【省力装置及び組立・溶接治具などの設計製作】

新年度に入り2ヶ月経過したが先行きが全く見えない。年内には反転するよう期待している。【加工部品(治工具・試作・精密部品)】

人出がなくなって、小売店不振により影響があるが、予防接種後の人出がどうなるか不明なので、現状扱っているものを増やすようにして対処しないと現状は変わらない。【組紐、ゴム紐、装粧品】

設計案件は動き出した感があるが、加工・製造にまで波及していないと感じる。【サービスロボット Sler】

設備投資の減少【生産機械(テーブルスポット)設計・製造・販売】

設備投資関係の取引先が絶不調。【工業塗装(金属焼付塗装)】

先の受注がまったく不透明です。【精密部品加工】

先行きが見えない不安定な状態【金属焼付塗装】

漸時好転。【段ボール箱の製造】

多少受注が増えているような感じ【光通信機器周辺精密部品製造販売】

中国における原材料高騰の影響が心配されています。設備受注業のため短期的には影響はうけませんが、下半期後半、および来期の受注における価格転嫁が上手くいかない場合は採算が悪化する可能性が高くなります。客先の投資状況は好転の見込みがあります。【プリント基板製造設部の製造販売】

中抜きがひどい。【省力化機器の設計製造】

長引くコロナ禍の影響にて我慢できる物に消費が回らない。財布の紐が固く単価も上がらない。 国産藺草の生産数がより減少して行き、不安。【畳製作】

電子部品、半導体関連業界好調により受注拡大が期待出来る。【プリント基盤、穴あけ加工】

電子部品を始めとする部品の価格が上がり、手に入りにくくなってきている【電子機器】

電線や部品の入荷が遅れている事。同じ製造業でも業種によって全く状況が異なる。【半導体部品、自動車製造ライン筐体、各種測定機器、医療器、建機関連、飲食関連機器】

同業者であっても取引先(メーカー)の違いで売り上げに差がある。【鋳造業】

銅価格高騰・原油価格上昇による石油製品の高騰・鉄鉱石価格の上昇や自動車向需要増による 鋼材価格高騰などの材料価格リスク【電力・通信用途を主とした電線・ケーブル、及び周辺機器】 得意先からの注文減少。傾向各社(10 社の会社)取引をしていますが受注生産のため注文は減少 傾向です。

【電源トランス、各種コイル、スイッチング電源用トランス、低周波用トランス、高周波コイル】

売上減少【印刷物】

売上不振・収益率低下・設備老朽化【金属製品塗装・メッキ処理業】

発注品の欠品・納期遅れが多数発生しており、製造が計画通り進まず受注品の納期遅れが懸念さ

れる。【ワイヤーハーネス加工・販売】

半導体やバッテリーの増産により製造装置やロボット・工作機械等の設備投資が活況。2 月より受注が好転している。【電子部品製造販売】

半導体をはじめとした、部品供給不安【電子機器、設計、製造】

非尿障害のニーズの高まりで売上増【医療用機械器具製造販売】

不景気【義肢·装具製造販売】

部品入手に時間がかかる(長納期品が増えている)【実装基板検査装置及び治工具】

忙しさが時期によりバラつきがある。【トラックの荷台架装・修理】

未だコロナによる動きが悪い。【製缶・板金】

木材、鉄材等仕入れ先から値上げの FAX が流れて来るが、当社は得意先にそんな簡単に値上げ 交渉は出来ないので中間である当社が泣くだけである。【木枠梱包、木製、鉄製パレット製作、鉄 製品溶接作業】

目先の注文はあるが、受注の確保までは至らない。【プラスチック加工業】

予測ができない【精密挽物加工等】

コロナ収束時期。【プレス機械製造・販売】

建設業

ウッドショックどうにかならないか。【リフォーム】

ウッドショックにより、工期遅延や木材仕入れ単価高騰となっている。【戸建て住宅、木造建築】

コロナによる景気の悪化。【造園工事業】

コロナによる景気減少。【塗装防水工事請負】

コロナの影響による経済の見通しが不明なところ。【ビルやマンション、病院等の金属製金物(手摺、外装パネル、装飾品、金属製庇等)設計、施工、販売】

コロナ禍で業種的には関係ないと思うのです受注が減っています。【建物解体、産廃収取運搬】

コロナ禍にあって、当社は、特に仕事量の大幅な増減はありませんでしたが、緩やかな仕事増になります。【総合建設(建築)設計施工】

コロナ禍による工事意欲の減少。【塗装、防水、リフォーム工事】

コロナ禍の影響により仕事量が激減し、雇用も募集しても難しい【測量、大工工事業】

コロナ対策に費用がかかり公共工事が減少している。相模原の将来性が見えない。予算が少なすぎる。【管工事】

プライマリーバランス堅持を変更し、財政出動をしてほしい。デフレを克服してからでないとプライマリーバランスは出来ないはずだ。【建設業全般(ゼネコン)】

メーカーが厳しくなってる。販売ルートによる仕入れ価格等。【アルミサッシ・スチール建具工事、ガラス工事 エクステリア工事】

一般消費者の方は、先行して修繕は行いません。先行きの不安でしょうか?コロナ禍で、少し遅れていますので少々景気が悪く感じます。【給排水衛生工事、施設保全作業】

影響が出て来ると思われるのは銅ベース高騰による、仕入れ単価の上昇。読めないので恐い。 【自家用電気工作物の点検、一般用電気工作物の設計・工事】

求人出すも応募増えず。

去年に引き続き動向が読めず苦労している。【消防施設工事業・消防・防災用品】

景気が悪い。【水道設備】

景気の落ち込みを感じた。【大工工事業】

景気回復するのか?【造園業】

景気回復傾向にあるが業種による偏りを感じる。【電気通信施設の設計・施工・保守及びコンサル ティング業務】

景気感の悪化。【管工事】

経済の停滞を感じます。雇用が悪化しているのでそこがボディーブローのように効いてくる【住宅、工場、AP、事務所など】

建設業界全体の物件数が非常に少ない状況になり、競争が非常に激しい状況になっています。そ

んな中、鉄筋材料が急上昇して仕入単価が労務費を圧迫し、余計労務単価が下落していく傾向で す。【鉄筋工事】

元請建設会社の受注減少傾向が感じられる。【外構工事】

個人の工務店の受注が減ってきている。【左官タイル工事請負】

顧客の設備投資などが、減少している。【電気設備工事業】

公共工事の予算減少。【造園】

公共事業予算減少している。前年比3割減。【土木工事】

工期の遅れ。【管工事】

工事が少なく売上不振が5年ほど続き、先が心配。【防水工事】

今期(4月~6月)受注の減少。【外構工事】

今期は、前期より受注した工事を含め、比較的安定した受注を確保しその殆どが完成しているため、全体を通して収益は確保出来ております。但し、次期へ向けての受注が減少しており今後の経営に懸念があります。【土木工事の施工・建築工事の施工】

今後の景気。【リフォーム・リノベーション・デザイン】

今後の売上不振が心配です。【外構工事】

今後売上減少になるのでは。【造園】

今年5月に木材関連がいきなり30%アップ。まだ値上がりしそう!【リフォーム】

材木が海外から入ってこなくて、現場がたびたび止まる事があり困る。【木造建築】

材料単価の上昇、公共工事(小)物件が少々。【鉄骨建築工事】

昨年からの新型コロナウイルス・変異コロナウイルスの感染拡大の影響で、建設業界全体の発注 案件が大幅に減少しており先の見通しが見込めない状況です。【鉄筋工事業】

仕事を受注しても予定数料の削減が多い

仕事量と社員のバランスがとれていない。【建設・建築全般】

仕事量の減少。【建具工事業】

社会全体の工事延期・遅れに伴い、4~6月期は、かなりの売上減少。夏以降下期にずれている感がある。半導体不足により空調機器仕入等の納期延長で工期が伸び経費上昇。【クリーンルーム施工、居宅介護支援】

取引先の受注が昨年に比べ、減少している。【内装業(クロス工事他)】

受注後に着工時期の延期が多い。材料単価の高騰により実行予算の見直し。【電気工事業】

受注状況 減少。【特注家具設計施工】

受発注の激減。

従業員の高齢化。【住宅新築リフォーム】

職人不足。【解体、土木、外構、建築】

新型コロナウイルスの影響か、オリンピック開催の有無が原因か、リーマンショックに近い景気の 悪化が見える。【内装工事業】

人手不足。

先々の受注案件の減少。従業員の高齢化。【金属製建具業】

先行きの景気感、受発注の状況の変動【消防施設工事業】

相模原市発注の予算が急下落。【造園工事】

売上減少、【重量物の搬出入】

発注先の工事の減少。【水道、土木工事業】

半導体需要が良化【。ふっ素樹脂チューブの製造・販売】

不景気感で、個人個人の方が(クレームになりやすい)イラだっている方が多いので、テレワーク 出来る職種でないので、行政の方にも考えていただきたい。【土木建築、造園工事】

不变。「【電気設備工事業】

民間工事が減少している。【土木工事業】

民間工事の動きが鈍く、受発注の減少。【解体工事業】

木材不足が深刻(価格高騰)。【建築・不動産業】

小売業·卸売業

- 5月は例年に比べて悪化。【自動車部品】
- イベント、会合食の減少を店売でカバーしている。【お惣菜、弁当の製造販売】
- イベント関係がどうなるのか不安です。【家電販売】
- コロナ。【酒、タバコ、灯油】
- コロナが落ち着いてからの飲食店や、宴会場、葬儀屋さん等が元の業務形態に戻れるのか?【食 肉の卸売及び加工業】
- コロナコロナでうるさい。【布団、靴、カバン、リフォーム、クリーニング】
- コロナに尽きる。【珈琲専門店】
- コロナの影響がどこまで出てくるのか?【通信機器販売】
- コロナの影響が大!!【新建材・木材販売】
- コロナの影響にて、地方提携先の出張を断られる。【寝具、枕】
- コロナの影響にて販売環境悪化。【飲料卸売】
- コロナ禍で卸売り先の販売活動が低迷、人と会えないことは、販売減に繋がります。助成金は50%以下の企業を対象のため、40%下がってももらえないのが厳しいです。【下着、化粧品、健康食品卸売り販売、小売販売】
- コロナ禍で海外顧客先(欧米)の業績悪化の一途。コロナ収束の見込み後の生産活動開始になれば数字は上昇見込み有り(個人的希望)。【産業機器用、医療機器用光学レンズ輸出】
- コロナ禍による個人消費の低迷。【衣料品小売販売】
- コロナ禍の不要の外出規制の人の少なさ。【お茶、乾物】
- コロナ時期は思った以上長くなり、営業活動が影響されました。景気感はまだ厳しく感じます。 【電子部品の海外貿易、金属品加工、照明製品の販売など】
- せっかく売上も好調なのに、とにかく従業員不足しているのでこれ以上の売上げ増が見込めない。【自動車用品製造販売】
- とにかくコロナが治まらなければ落ち着いてものを買う気持ちにならない。【家庭用品、雑貨等 小売業】
- ネット販売増加に伴う来店客数の減少。【金物販売】
- やや好転しつつある。【自動車の販売及び修理】
- ワクチン接種量により、景気が上下すると思われる。【トヨタ新車販売】
- 引き続き、好調な売上が続いている。【健康食品の販売(玉ねぎ皮茶など)】
- 飲食業の売上減に伴い、設備投資が進まず、受注が減少する。【厨房機器】
- 何が売れていくのか予定がたてられない。【化粧品、健康食品製造販売】
- 外勤営業、技術営業の人材求人難。【金型部品の輸入販売】
- 外出をしないので消費をしない。【スポーツ用品】
- 感染対策費用の増加。【化粧品販売、エステ施術】
- 観光地におけるハイミセス向けの展開という当方の事業内容においては、ワクチン接種が行き渡った後の高齢者の動向が今後の状況を左右すると考えております。その期待を込めて今年度7月期~9月期予測は好転としております。【婦人服、婦人服飾雑貨の委託卸売り】
- 企業、事業所、個人ともに収益、収入格差の拡大による収益構造の変化対応を迫られる。 19年度以前に戻らない変化した消費行動への対応。 地域貢献活動の金銭から実行への拡大や環境対策への投資経費の増大。 【衣食住全般】
- 狭い日本に飛行機、新幹線がある中でリニアカーを走らすよりも荷物輸送方法を考え一極集中しないよう地域発展の為、貨物列車を通じ国内での物造り積極的に進める様に【電子部品販売並びにアッシー(外注)】
- 景気低迷。【酒たばこ小売り】
- 原材料の高止まりで仕入れ価格上昇。
- 個人消費が少ない。【家電販売】
- 個人消費が落ち込んでいる。【家電製品販売及び修理】

個人消費の減少及び公共の消費の減。少【文具事務用品の販売】

高単価商品より、低単価商品に移行。ブームのみの商品好調(カード)。【玩具】

今期は、海外販売先がコロナ不安からコロナ慣れし、止めていた経済も多少動き始めてきた様に感じました。それに反比例し国内仕入先が長引くコロナ不安から売買に対し、慎重になってきているように感じます。【トラック及び、建設機械販売】

最近の消費者状況、動向。ショッピングセンター等、生活飲食料品の買い物の際には日用雑貨も 購入して町の商品で買い物が少ない。大学ではオンライン授業で町に学生が少ない。【文具、事務 用品】

材料の値上がりが続く予定ですが、受注は変わらず厳しい状態です。【ねじ類販売】

材料不足の上、価格上昇で売上減少【建築材料販売】

昨年が良すぎて比較すると悪い【洋菓子店】

昨年はこの時期、緊急事態宣言中の売上は低迷、解除となってから急伸しています。今期は昨年 比較ではこれまで伸びているものの、この先は厳しい状況です。感染防止政策、人の動きにより 業績は大きく変わるため、更に悪化することも覚悟の上、現在は投資、経費を抑えるべきと感じま す。【衣料品、住まいの品、食料品、各種サービス】

昨年同時期が、最初のコロナパンデミック緊急事態宣言最中でしたので、先行きの不安がとても 大きかったですが、同じ緊急事態発令中でも、やや余裕があります。【米菓】

仕入先の廃業があり、次の仕入先を探すのに苦慮しています。弊社だけでなく、取引委先からも そのような話をよく聞きます。【空気圧機器販売・一部製造】

仕入単価の上昇。【生花】

次期以後、予測が大変難しい。【家電販売、電気工事】

自粛による消費の減少。【健康食品の卸売】

自転車需要は上昇しているのに、製造が部品不足で滞っている。【自転車販売、修理】

酒類の販売を禁止されている飲食店がメインの顧客である当社にとって、この状況は「死ね」と言っているに等しい。従業員も去り、借金も増え、補償は無し。座して死を待つ他ない。【飲食店専門の酒販業】

酒類の販売先の休業での売上の低下した分、個人消費は高まったがそれも一時的なもので R3、4 月からは低迷している。みんなに疲れがピークに達しているように感じる。【酒類、米、タバコの販売】

商品の多様性への対応方法等。【霊園の造成販売、墓石の作成販売、仏具の販売】

新しい顧客の開拓 新しい取扱商品の模索。【風呂 ろ過装置(24 時間風呂)機器とその消耗品販売】

新型コロナウイルスの影響から先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】

人通りの再減少、じっと待っている。【タバコ、酒類、飲料】

政策が特にちぐはぐ、市況そのものがどんどん弱る。【婦人服小売、卸売】

製造業に元気が無い。但し医療関係は良い。【作業服、作業用品】

製品の原材料単価の上昇。【介護用食品の開発&販売】

前期 4~6 月期はコロナの影響で小中学校が休校となり、大幅な売上減少だったが、今期は休校がなかったため売上は増加。【生鮮青果物卸売】

相模原市の「サンキューキャンペーン」、ペイペイキャンペーンは売上げに大きな効果があった。 【スポーツ用品】

展示会なども開催されず、商材情報(新商品等)が少ない。実際に見て・聞いて・さわってみる機会がなくなってしまった。【省庁向け特殊物品企画開発・販売】

東京都への緊急事態宣言延長が原因で販売機会を大きく失った。【美術品(特に絵画)】

得意先の売上減少、輸入材料の減少(特に木材関係)。【建築・土木資材販売】

特になし。【たばこ小売】

売上がほぼ無いが固定費がかかる。今期も大きな赤字が出そう。【酒類】

病院、医院の患者が非常に少ない。したがって受持数も少なくなっている。【メガネ、CL の販売】

偏った景気による今後の不安。【自動車ディーラー】

利益率が悪い。【調剤薬局】

老人世帯が多く消費者が減少。【LP ガス、灯油、リフォーム、設備工事】

飲食業・サービス業

(仕方のないことですが)新型コロナウイルスの感染拡大に伴う予防策を講じるも、その大きな効果を見ることなく、緊急事態宣言や蔓延防止措置の公示期間が延びている現状。経済活動が停滞していくことへの不安あり。【商業デザイン印刷、編集企画印刷、サイン施工】

3年前に賃貸募集会社(グループ会社)が海老名に募集店舗を出店時、同店舗内に管理の営業者 2名を出張所として配属。しかしながら現在海老名地域が人気であり予想以上に多忙となってお り、現在人員募集中である。【不動産賃貸管理】

4月の売上が新型コロナウイルス流行後最高だったので好況に感じる【理容業】

COVID19の影響で貸切旅客運送事業が依然、厳しい状態にある。【自動車整備業、貸切旅客運送事業】

アフターコロナがライフスタイルにどのような変化をもたらすのかが、明確にわからない【商業施設の運営】

アフターコロナの時の需要変化、顧客の行動変化が読めない。【観光振興事業、アンテナショップ運営】

イベントの中止が最大影響【植物のレンタル】

イベント前が忙しいので早く色々なイベントが出来る様になってほしい【一般理美容】

ウッドショックなどと呼ばれる材木が入手できない状況が続くと何もできなくなり、従業員の削減や減給を考えなくてはならない。【土地を購入し造成して建売販売】

オリンピックの動向に伴う【ホテル】

お客様の減少、来店サイクルが長くなった【美容業】

お客様は8割~9割戻っている【カフェ(ランチ・ドリンク・デザート)】

お酒の提供自粛が大きく響いている【焼肉・韓国料理】

クラウドファンディング中、補助金支給まだ。【高齢者向け訪問型個別レクリエーション、高齢者向け娯楽用品の企画・販売】

この機会に新卒者の採用を増やしたい。【ソフト開発】

これ以上景気が悪くなっていくと大変困る。

コロナウイルスなかなか終息してくれなくて、今後の景気に不安あり。【カフェ】

コロナウイルスの影響。【ラーメン店】

コロナウイルスの影響で、大型の披露宴がなくなり、演出を伴う宴席が減少している。私共に関しては、その分映像商品が増加しており、収支は変わりがなかった。しかし、今後を考えると件数や規模がこのまま縮小したままだと、いつ悪化してもおかしくない状況であり、不安感が募るばかりである。【結婚式の演出(音響・照明・映像)、動画撮影・編集】

コロナウイルスの影響により、環境関連商品及びサービスの需要増。【清掃用具のレンタル、エア

コンクリーニング、家事代行、害虫駆除】

コロナウイルスの影響により「人流の抑制」が求められている状況で観光バスの需要が消滅。設問 A-2 及び A-2 で回答していないのは、昨年と状況が変化していない為。打開策として、オリンピックの開催、ワクチンの接種率の向上、が必須と思われる【貸切バス】

コロナが長びくことによる海外旅行市場低迷が続くこと。【海外クルーズ会社の販売代理業】

コロナでの営業休業、保障の少なさ。【寿司屋】

コロナで不況。【蕎麦屋】

コロナによる外出自粛のため、工事をする人が減っている。【害虫駆除・消毒業】

コロナによる個人消費の低迷。【理容】

コロナによる動きづらさ。

コロナによる利用者の減少及び増加の見込みがない。【デイサービス地域密着型通所介護及び総 合事業】

コロナのせいで仕事がありません。【酒小売、飲食】

- コロナの為の影響で業績不振。【一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)】
- コロナの影響。【税務、会計】
- コロナの影響がどこまで続くか不安です。【葬儀関係及びイベント用のテントの事業です】
- コロナの影響が出始めている。【一般貨物輸送】
- コロナの影響で、お役様がテレワークをしていて、工事の予定が具体化されにくい。【電子式保管庫の設置・配線・設定・調整・メンテナンス及び金融機関の金庫室設備工事及びメンテナンス】
- コロナの影響でお客様の周期率が伸び全体の売上にひびいている。私たちの職業は 10 日のびると年 2 回分マイナスになるのできびしいです。在宅、施設などにセールスをかける予定です。【理美容業】
- コロナの影響で企業に余裕がなく、お願いする講習会に参加が少ない。【厚生労働省管轄の法令 の要点を企業に説明する。人事労務のあり方を企業に指導する。】
- コロナの影響で巡回サービスがままならない。【コンプレッサーの販売・整備】
- コロナの影響で先が読めない。【海外引越】
- コロナの影響で売上が下がっている。ワクチン接種後に期待。【鍼灸、整体】
- コロナの影響で不況感の状況なのに、人材応募しても思った程、応募人数が少なかった。(機械エンジニア)。【モートル、水中ポンプ類の修繕・交換・お預かり・出張修繕】
- コロナの影響なのか不況感を感じている。【非破壊検査業務】
- コロナの影響もありここ 2~3 年は厳しくなる見込み。【検査・梱包】
- コロナの終息。【金属リサイクル業、産業廃棄物収集運搬業】
- コロナの状況。【税理士行政書士】
- コロナの中でも、変わらない売上は、安心しています。【自動車整備】
- コロナの長期化で来店者の減少(特にディナータイム)【スペインレストラン】
- コロナの長期化による影響。【生損保代理業】
- コロナ影響。【エンボステーピングサービス】
- コロナ影響が有ります。不況は。
- コロナ影響大きく、資金繰り悪化している取引先が増加。【金融機関】
- コロナ禍であり不動産仲介情報の量そのものは減少しているが、不動産単価は微増している。原因は不明。一過性なのかも不明。【不動産仲介(主に戸建用地、マンション用地)、権利調整、賃貸管理(住居系)】
- コロナ禍での時短営業及び酒類の販売禁止によりただでさえ個人消費が冷え込んでいるのに酒類の販売ができないためサイドメニューも注文激減、飲食店に対する協力金も難癖ばかりでなかなかでない。協力ばかり要請し保証はない。飲食店つぶしばかり!【中国料理】
- コロナ禍ではあるが、福祉サービスは最低補償として守られている反面、現場におけるサービス利用の安全、働き方に工夫が必要となる現状がある。また、部署によっては人材不足となっている。【障がい福祉サービス(就労支援)】
- コロナ禍により、景気が不安定になるため今後どうなっていくか不安【コーヒーの移動販売】
- コロナ禍の為、時短営業とか飲食の停止令の為、全く商売にならない。(夜の部は特に)宴会も中止、イベントも中止では売上も上がらない。【中華料理及び飲物】
- コロナ禍の影響が大きく、業績の全てに影響している。【旅行業】
- コロナ禍の影響で仕事が減り、仕事を取っても単価が下がっていて実利益がおちている【一般貨物】
- コロナ禍の影響で来客数が激減!【金券売買、リサイクル品売買、趣味品売買】
- コロナ禍の先行き不安【情報処理サービス業】
- コロナ禍の早期終息が待ち遠しい。
- コロナ禍の中、業界を取り巻く環境の変化に苦慮しております。【自動車、硝子、施工販売】
- コロナ禍の中稽古人の来場者が少なくなっている。収束すれば回復可能です。【合気道道場】
- コロナ禍の中状況厳しい【福祉施設雲煙】
- コロナ禍の長期化【郵便物の小包配達等】
- コロナ禍より売上まったく見込めない【中華料理】

- コロナ禍多くの消費者の不安定な気持ち【化粧品販売、エステ技術】
- コロナ感染が続く特殊な状況ですが、ワクチンの接種者の増加や、オリンピックの開催などが続けば、政府が進める量的緩和政策の影響もあって景気は上向いてくると感じております。【税務申告、税務相談、記帳代行、付随業務】
- コロナ感染症の影響で景気が良いとは言えない。利用者様のキャンセルも継続的にあり新規顧客も減少している。雇用に関しては退職者は無く、パートで働く女性を数名雇用できている。専門職の雇用が今後どうなるか心配している。【介護事業全般・地域密着型通所介・訪問看護護・居宅介護支援事業所・訪問医療マッサージ】
- コロナ環境の長期化に伴う閉塞感。【生ジュース調理販売】
- コロナ関連から影響している、いわゆるウッドショックがここ数カ月で特に耳に入るようになった。建築資材関係の値上げ等が建物販売書価格に影響してきますので気になります。【不動産売買・賃貸仲介、賃貸管理業務、不動産賃貸業、不動産販売】
- コロナ関連で設備や諸経費がかかり、経営状況を圧迫している。【教育】
- コロナ後の景気。【賃貸管理 あっせん】
- コロナ対策による営業時間の短縮。【夜居酒屋兼食堂、昼定食とお弁当】
- コロナ対策の明確化。【自動車整備事業】
- コロナ発生以来、非常事態宣言及び蔓延防止重点区域等が日常的に発出され、思うような営業が出来無い、且つ、取引先も色々な制限が課され、当社も悪影響が出ている。一刻も早く、安心、安全な生活に戻る事を切に願っています。このままの状況ですと、当社も非常に危機的な状態に陥ります。【墓石清掃、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石リペア、墓石メンテナンス、石材特殊清掃】
- コロナ不況、景気低迷感、デフレ。【接骨院業務】
- テレワークが進んだ事による消費者の動きが変化。これからもクリーニングに出すものが減少。 【一般クリーニング】
- テレワークのおかげでビジネスクリーニング激減。【クリーニング】
- パート・アルバイトの事務職や作業員の応募が少ない。【再生資源卸売・廃棄物処理】
- ほとんど営業出来ない。【レストラン、宴会、パーティー、イベントスペース】
- まん延防止等重点措置のため、ほとんど営業しておりません。【レストラン、仕出し、宴会】
- メーカーの派遣技術者のニーズが少ない。【技術者派遣業】
- やはりコロナの影響大。【非鉄貴金属の買い取り・売却】
- リニア工事に伴い不動産は動いている。【不動産管理業】
- ワクチン接種により高齢者達が積極的に治療に来院するかも。【鍼炙院、接骨院】
- 飲食業界は度重なる時短要請、さらに酒類提供の禁止、休業要請など不確実なことばかりで見通しが立たない状況にありますが、コロナ後を見据えた事業の在り方など前向きな改革を急ぐ時かと思います。
- 飲食店、宿泊業、旅行業者が特に不振で今後持ちこたえられなくて倒産が増えると思う。【障害福祉サービス事業、障害者就労継続支援サービス事業所】
- 営業の機会がありません。【居酒屋】
- <u>下げ止まり感。</u>【介護(デイサービス)】
- 何といってもコロナ収束が第一。【ラーメン店】
- 荷動きが悪い。【食品の配送】
- 貨物の減少で景気が悪い中、ドライバーさん達も有給が増え、雇用状況も良くない。又今までにない人員の入れ替えが頻繁で困った。従業員が不足してしまった。
- 外出自粛で来店サイクルが伸びている。【美容業】
- 確実に財布のひもがしまっている【保険代理店】
- 感染症流行及び半導体不足がリスク。中期的には中国進出企業の政治リスク有。【プレス機械関連の自動化・システム化支援、品質及び環境 ISO の管理支援】
- 観光にかかわる業種は現状では、じっとがまんを強いられている。とにかくワクチン接種が拡大しなければ消費の雰囲気にならないのではないか。【旅行商品】

関与先経営者の高齢化による廃業等が散見される。【税理士事務所】

去年の緊急事態宣言明けから数か月は毎月売り上げ上昇で、年末年始あたりでかなり減りましたが、今現在は好調。今年度のコロナの影響や緊急事態宣言延長、オリンピックの影響はまだ謎です。【便利屋 不用品片付け】

業種による、借入資金の成約が厳しすぎるため思うような資金調達ができない。【戸建住宅販売・仲介・賃貸業】

緊急事態宣言の影響あり。【訪問鍼灸治療院】

景気の不透明感。

景気悪化。【不動産仲介業】

景気感としては、やや好転しているが先行きは不透明。【賃貸アパート管理】

景況感としては、悪化していると感じる。案件数が少なく、要員過剰の話が出ている。【ソフトウェア開発、システム構築】

経済が縮小していると感じる。(B to B での発注量等)。【警備請負】

建物の修繕費用、賃金の上昇等、経費の増加。【土地、建物賃貸業】

個人の一般客が多いので、新型コロナの終息が第一と考える。【写真業】

個人消費の低迷。【不動産売買仲介、管理】

顧客サービスの低下による売上減少が心配。【賃貸管理】

顧客の販促予算が大幅に削減。コロナでイベントのキャンセルが相次ぐ【紙媒体、サイン関連、web 関連、イベント企画運営】

幸いなことにコロナの影響もなく進んでいる。【労務コンサルティング業】

高齢者の通院数減少・若年層~中年層増加、従業員の不足【接骨院鍼灸院】

今期よりも来期の方が不況感が強いと思われる。【生命保険、損害保険代理店】

昨年と違い取引先が通常通り営業しているので荷量は戻っている。【産業機械部品の輸送等】

昨年に比べ、外出自粛する人は減ったが、客単価は低くなった。【美容院】

昨年同時期のコロナウイルス感染拡大防止で3ヶ月営業をせず売上げがない時期の借入金返済が始まり、現状の売上げで、維持プラス返済の体力がない・・・。小中学校が休校にならず、営業は行えている。【スポーツクラブ運営】

三度目の緊急事態宣言による人流抑制により、消費者の購入売却行動が低下。その結果、成約率等も低下しはじめている。【不動産買取再販。仲介。管理。コンサル】

散歩する人が増え、立ち寄り消費が増えた。【生ジュース、調理販売】

仕事な話はあるものの、コロナの影響で無くなることが多い。【映像制作、映像配信】

仕事量のバラ付きが大きい。コロナ禍のせいかと思いますが。【自動車修理、販売、板金、保険業、リース含】

仕事量減と消費税 10%が重荷である。【建築設計、工事監理、補償コンサルタント業務】

資金繰りの悪化。【ソフトウェア受託開発】

自粛で、既存客が来店しない。【ネイルサービス】

失業率が高止まりしているとの事だが、人材確保が非常に困難になっている。【人材派遣、有料職業紹介業、請負、登録支援事業】

社員補充が急務、現場諸経費(パーキング代等)の増加、採算の合わない物件の値上げが中々実 行されない【ビルメンテナンス】

社会生活環境が同様に変わるかに注目している。【廃棄物処理】

取扱い商品が測定機器と機械部品である。また、取引相手の一部か外資系であることから、コロナの影響は少ないと思われる。しかし、外資系の物品については、5月にいきなり出庫の要請が来て売上が伸びた思えば、部品の入庫が間に合わず数カ月の出庫待ちとなっているものもあることから毎月の収支の変動が出てしまう。【倉庫業】

取引先の経営者が高齢化、不況等で廃業者が増加し、顧客先が減少【税理士業務】

酒を売れない為、4月28日~6月20日まで休業予定【居酒屋、酒と料理】

酒類停止になってから深刻な業績悪化、死活問題【レストラン】

周辺設備工事関連などは比較的好調でそれに伴う恩恵が大きいが、個人消費の落ち込みはなか

なかきびしいものがあると感じる。【宿泊施設】

従来の輸送量に回復しつつあるも、コロナ以前の運転手不足は一服し、荷主は値下げ要求に転じている為、今後経営は厳しさを増すかもしれない。【自動車鋼板・自動車部品・LPガス】

出口の見えない新型コロナ感染対策の中での五輪開催の影響、世界からの新たな評価による社会全体における我が国の景気動向、コロナ終息後の雇用状況、社会の変化、金融機関の対応等終息後の展開の予測もつかず不安である。【土地建物の売買・賃貸・その双方の仲介並びに不動産に関するコンサルティング業務及び賃貸管理業等】

少なからずコロナの影響を感じています。経費削減など自助努力している【リラクゼーション、エステ、化粧品販売】

消費税を少なくともコロナが収束するまで減税してほしい【税理士法人】

新型コロナウイルスによる先行きの不透明感が有り、個人消費が落ち込んでいる。不動産の売買・賃貸とも様子見の状況です。【不動産の売買・賃貸の仲介業】

新型コロナウイルスによる売上の影響は現時点では感じないが、今後に不安がある【屋外広告看板】

診療報酬に左右される点が懸念材料。【訪問診療、外来診療】

人の集まりの忌避による販売単価の低下。【葬祭業、互助会業】

人材不足。【税務書類の作成】

人手不足による。【自動車整備】

制限された環境(20時までの営業)での営業に非常に厳しい状況。【お好み焼き店】

政府の無能。【一般貨物】

製造業種は回復していきている。【人材サービス】

請負業務(機械設計)が減った。【建設機械、搬送機械、工作機械及び発動機の設計・製図並びにコンサルティング等の労働者派遣及び請負事業】

先行き不透明感。【人材派遣業】

前からそんなにもうかってないのでかわらない。売り上げをあげるよう努力したい。【不動産投資、リドンブランドの販売、カラーコンサルタント、タロット占い】

前年同期に比べると売上高は、戻ってきているものの、新型コロナウイルスの影響は続いており、既存テナントからの賃料免除や新規テナント募集の苦戦を強いられている状況です。【不動産賃貸管理】

全体的に市場の縮小を感じます。【自動車部品、食品、生活雑貨】

全体的に停滞感、業績悪化感を雰囲気として感じる。【司法書士】

早くコロナが終結するのを毎日祈っております。【クリーニング】

直接的な影響はないが、新型コロナウイルス感染症の経済への影響を懸念している。【業務委託・ 労働者派遣】

特にありませんが、コロナ禍の先行きが心配である。【自家用電気工作物保安業務受託】

日本のコロナ感染者数の増加、日本のワクチン接種率と経済活動の遅れ、欧米の接種率アップと感染者数減少、経済活動再始動。【海外クルーズの日本での販売代理店】

売上が低い所で落ち着いていて、今後もあまり変わらない様な感じがする。市独自のコロナ対策 支援が他の市と比べて少なすぎると思う。不安しかない。【業務用クリーニング機械販売、設置、 修理】

売上の減少、卵、油等の主力食材の高騰。【弁当、総菜等製造販売業】

売上不振。【鮮魚、肉、酒類、野菜など】

売上不振、収益率が上がらない。【リラクゼーションマッサージ、便利屋】

半導体不足による新車納期の遅れ。【カーコーティング】

不況。【バス事業】

不況が更に続く見込。【売買、賃貸、管理】

不況感を持っている人が多い【スポーツチーム運営】

不景気、外出が少なくなっていることで個人からは減少、企業はそこまでこない。【クリーニング 業】

普通。【産業廃棄物、再生原料、スクラップ、鋼材】

訪問介護へのサービス依頼は順調に伸びつつありますが、高齢者が対象のサービスの為、利用者の変動が大きい。一人の人に対するサービスが多い方は、急に入院や施設入所になることがあるので、日ごろから利用者の状況把握を確実に行う必要がある。見間違えば大きな売上減少に陥ります。【訪問介護事業】"。

未収金の発生、破産先企業の増加による、連鎖倒産。【中小企業経営コンサルティング】

民間からの受注が増加傾向【建築設計、監理】

予約や問い合わせ数が極端に減少している。【写真館】

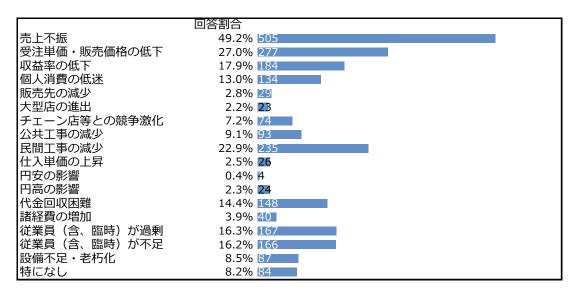
来店客が少なくなって来た【頭髪のカット等】

来店周期が広がっている。高齢者がコロナを警戒して来店を躊躇。【美容室】

労働集約型の為、最低の最賃引き上げはモロに響いている。客先に転嫁したい所だが、なかなか難しい。【ビルメンテナンス】

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=1,027)



製造業

今回調査を見ると、「受注単価・販売価格の低下」、「民間工事の減少」、「代金回収困難」、「従業員が不足」が増加した。「売上不振」、「収益率の低下」、「販売先の減少」、「仕入単価の上昇」、「諸経費の増加」、「設備不足・老朽化」が改善した。売上と収益率は改善しているが、代金回収困難が増加している点が懸念される。

	R2年4~6月	R2年7~9月	R2年10~12月	R3年1~3月
	n=308	n=264	n=272	n=235
売上不振	75.3%	79.2%	72.1%	71.1%
受注単価・販売価格の低下	19.8%	20.8%	15.4%	18.3%
収益率の低下	40.6%	40.2%	29.8%	32.3%
個人消費の低迷	6.8%	8.0%	7.4%	4.3%
販売先の減少	18.5%	17.8%	18.8%	12.3%
大型店の進出	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%
公共工事の減少	3.2%	3.8%	4.4%	3.0%
民間工事の減少	6.2%	7.6%	7.0%	5.1%
仕入単価の上昇	9.1%	6.1%	11.0%	22.6%
円安の影響	1.0%	1.1%	0.7%	1.3%
円高の影響	1.3%	2.3%	1.5%	0.4%
代金回収困難	2.6%	1.1%	0.7%	0.4%
諸経費の増加	11.7%	10.6%	11.4%	14.0%
従業員(含、臨時)が過剰	8.4%	8.0%	5.9%	5.5%
従業員(含、臨時)が不足	14.3%	8.7%	10.3%	14.9%
設備不足・老朽化	10.7%	12.1%	19.9%	25.5%
特になし	5.2%	2.7%	5.9%	6.4%

今回調査	
n=261	
	5 6.3%
	27.6%
	5.7%
	11.1%
	0.4%
	0.8%
	3.8%
	5.4%
	36.4%
	2.3%
	0.4%
	1.5%
	14.9%
	3.4%
	11.9%
	23.4%
	5.7%
	5.7%

建設業

「チェーン店等との競争激化」、「公共工事の減少」、「従業員が過剰」、「代金回収困難」が増加し、「収益率の低下」、「販売先の減少」、「仕入単価の上昇」、「従業員が不足」が減少した。 業況はやや改善しているものの、仕事量が減少傾向にあり従業員の過剰感が出てきているようである。

	R2年4~6月	R2年7~9月	R2年10~12月	R3年1~3月
	n=214	n=184	n=180	n=155
売上不振	48.1%	41.8%	41.7%	45.2%
受注単価・販売価格の低下	26.2%	25.0%	29.4%	24.5%
収益率の低下	31.8%	26.1%	33.9%	25.8%
個人消費の低迷	18.7%	10.3%	10.0%	11.0%
販売先の減少	10.3%	8.7%	8.3%	10.3%
大型店の進出	1.4%	1.6%	1.7%	1.9%
チェーン店等との競争激化	0.0%	3.3%	3.3%	1.9%
公共工事の減少	22.4%	30.4%	22.2%	21.9%
民間工事の減少	38.3%	38.0%	35.0%	32.3%
仕入単価の上昇	8.9%	10.9%	16.7%	16.1%
円安の影響	0.5%	0.0%	0.6%	1.3%
円高の影響	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%
代金回収困難	2.8%	3.8%	0.6%	1.3%
諸経費の増加	14.0%	12.5%	7.2%	6.5%
従業員(含、臨時)が過剰	0.9%	1.6%	0.6%	1.3%
従業員(含、臨時)が不足	23.4%	29.9%	30.6%	24.5%
設備不足・老朽化	1.9%	4.3%	5.0%	5.8%
特になし	3.3%	4.3%	4.4%	5.2%

0.1%
33.0%
9.3%
6.0%
0.5%
1.1%
20.9%
30.2%
27.5%
4.4%
1.1%
2.2%
9.9%
1.1%
9.7%
8.2%
1.6%
2.7%

小売業·卸売業

「受注単価・販売単価の低下」、「収益率の低下」、「民間工事の減少」、「代金回収困難」が増加した。「個人消費の低迷」「販売先の減少」、「仕入単価の上昇」、「諸経費の増加」などが減少している。新型コロナ感染症の長期化により、個人消費の低迷が続いている。

	R2年4~6月	R2年7~9月	R2年10~12月	R3年1~3月	今回調査
	n=199	n=167	n=161	n=134	n=166
売上不振	67.8%	58.1%	53.5%	50.7%	53.6%
受注単価・販売価格の低下	13.6%	10.2%	10.1%	15.7%	27.7%
収益率の低下	31.7%	29.3%	28.8%	29.9%	36.1%
個人消費の低迷	45.2%	38.9%	24.5%	35.1%	20.5%
販売先の減少	33.7%	21.6%	17.9%	28.4%	9.0%
大型店の進出	3.0%	4.8%	0.7%	2.2%	9.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	5.4%	3.8%	6.7%	2.4%
公共工事の減少	1.5%	3.0%	2.6%	3.0%	1.8%
民間工事の減少	6.0%	6.0%	2.6%	2.2%	22.3%
仕入単価の上昇	10.1%	18.6%	5.4%	20.1%	3.6%
円安の影響	1.0%	1.2%	0.0%	4.5%	0.0%
円高の影響	0.5%	0.6%	0.7%	0.0%	3.0%
代金回収困難	1.5%	3.0%	2.4%	1.5%	11.4%
諸経費の増加	11.1%	11.4%	18.2%	11.9%	4.2%
従業員(含、臨時)が過剰	1.5%	4.2%	1.7%	1.5%	9.6%
従業員(含、臨時)が不足	13.1%	9.0%	20.8%	11.9%	13.9%
設備不足・老朽化	6.0%	8.4%	13.0%	13.4%	4.8%
特になし	4.0%	7.2%	11.8%	5.2%	5.4%

経営上の問題点 (業種別)

飲食業・サービス業

「受注単価・販売単価の低下」、「代金回収困難」、「従業員が過剰」が増加し、「収益率の低下」「個人消費の低迷」「販売先の減少」は減少し、状況は回復基調にはある。長引く売上不振から従業員の過剰感が出てきているようである。

	R2年4~6月	R2年7~9月	R2年10~12月	R3年1~3月
	n=499	n=444	n=424	n=408
売上不振	62.9%	59.2%	5 3.5%	52.0%
受注単価・販売価格の低下	12.6%	11.3%	10.1%	13.0%
収益率の低下	30.5%	26.8%	28.8%	34.3%
個人消費の低迷	31.1%	25.2%	24.5%	25.0%
販売先の減少	19.4%	15.5%	17.9%	18.6%
大型店の進出	0.6%	0.5%	0.7%	0.5%
チェーン店等との競争激化	0.0%	3.2%	3.8%	1.7%
公共工事の減少	2.6%	3.8%	2.6%	4.4%
民間工事の減少	5.4%	5.4%	2.6%	3.7%
仕入単価の上昇	5.8%	7.0%	5.4%	7.4%
円安の影響	0.2%	0.2%	0.0%	0.5%
円高の影響	0.6%	0.2%	0.7%	0.7%
代金回収困難	5.2%	2.9%	2.4%	2.5%
諸経費の増加	15.0%	20.0%	18.2%	18.1%
従業員(含、臨時)が過剰	3.8%	3.6%	1.7%	1.2%
従業員(含、臨時)が不足	19.6%	17.6%	20.8%	18.1%
設備不足・老朽化	8.6%	15.3%	13.0%	14.5%
特になし	8.4%	9.0%	11.8%	11.8%

今回調査	Ì
n=418	
	46.9%
	23.7%
	22.0%
	14.4%
	2.9%
	1.0%
	5.3%
	5.0%
	12.7%
	1.4%
	0.2%
	2.6%
	17.2%
	5.3%
	15.8%
	16.0%
	14.6%
	13.2%
· · · · ·	